



光る五中

Higashiyamato City Daigo Junior High School

令和 8 年 3 月 1 8 日
第 11 号

〒207-0033 東大和市芋窪 5-1119
TEL 042-561-0050
FAX 042-590-7032
<https://5c.hyama.andteacher.jp>

「この一年の皆様のご協力に感謝いたします」

校長

3月に入ってこの一年間を振り返ると、毎年のことではありますが、本当に月日の経つ速さを感じます。この仕事は、ルーティンのようにも見えますが、実際には授業や生徒が変わり、教師も変わり、内容も少しずつ変わる中で、教師一人ひとりにクリエイティブな力と熱量が求められます。ブラックな仕事とも言われますが、多くの教師は子供との関わりやその成長をみたり、感じたりする時に「やりがい」を感じ、4月を迎えるにあたって「また頑張ろう」と思うのだと思います。時に生徒指導においては、保護者の方との連携の大切さをとても感じます。ベクトルの方向がある程度一致できるように、今後も十分に話をし、互いの理解を深めていきたいと思っています。子供を信じるのは、「将来良き大人になることを信じる」ことです。その場のごまかしを信じることはありません。互いに「だめなことはだめ」と今後も言い続けていきたいと思っています。令和8年度も、本校教育活動にご協力いただけますよう、よろしくお願いします。

以下に卒業式での式辞を載せました。

卒業式 「式辞」

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、このハレの良き日に、保護者、ご来賓のみなさま方にご臨席を賜り、第43回卒業式を挙行することができますことを、厚く御礼申し上げます。

さて、これから話すことは卒業生の皆さんが、生まれる前後の15年ほど前のことです。もう気づいた人もいることでしょう。2011年の3月11日、金曜日、午後2時46分ごろ、三陸沖でマグニチュード9、宮城では震度7の巨大地震が発生しました。先日皆さんが予行をした日にちです。当時、私自身も卒業式の練習をちょうどしていた時でした。遠く離れた東京でさえも、揺れは徐々に大きくなり、もしかしたら、このまま体育館がつぶれてしまうのではないかと、初めての恐怖を感じました。ここ東京では、モノレールや電車、バスも止まり、携帯電話さえもつながらなくなりました。テレビでは海底の土砂を巻き上げた黒い海水が、街やそこで暮らす人々を飲み込み、車を押し流す津波の映像が流れました。それは、そこに暮らしていた人々の、悲惨な状況を想像させました。やがて原発が津波で壊れ、爆発して、放射能による汚染が取り正される中、首都圏の電気不足が言われました。当時は計画停電と言って、多摩地域では一日に何時間も電気が使えない時が夜も続きました。巨大地震の怖さと、電気のありがたみを強く感じた時でした。そのような大地震が起きた前後に、今ここにいる皆さんは誕生しました。赤ん坊の皆さんを抱えながら、保護者の皆さんは日々の不自由な生活の中、大変なご苦労をされてきたのだと思います。

君たち自身もまた、小学生時代には、コロナウィルスによる被害の大きさと恐怖に、授業が対面ではなくなったり、給食中は一切しゃべってはいけないとか、外遊びの時間や宿泊行事が中止になったりしました。それは、学校が人と人とのかわり合いの中で学びあうという、学びの場として機能しなくなる出来事でした。「新たな日常」の生活が始まり、皆さんは、それを乗り越えながらここまでやってきました。この先20年後、30年後の君たちの未来は、どうなっているのでしょうか。世界が平和で明るく、だれもが暮らしやすい社会になっていることを願っています。そんな社会にできるのは、これから生きていく皆さんに違いありません。一人ひとりにできることは何なのか。前に歩みつつも、時に後ろに残してきた道を振りかえり、自分の頭で考え、再び前に一歩一歩、勇気をもって踏み出して行ってほしいです。

今、この地球上では人種や民族、宗教や思想の違い等が原因となって、差別や迫害を生み、戦争につながっていることが多いです。平和な世界を失う前にこそ、どうしたら皆が笑顔で過ごせる日常を続けて行けるのか。自分はどうかかわっていくのかを、これからの日本、もしくは世界に生きる皆さんには、考え続けて行って欲しいです。

最後になりましたが、今日までお子様の健康を気遣い、良き成長を願って、本校の教育活動にご理解ご協力くださった保護者のみなさま。また、温かい目で成長を見守り、ご支援くださった御来賓の皆様。御指導賜りました東大和市教育委員会の皆様に感謝を申し上げ、式辞といたします。

●卒業に向けて



薬物乱用防止講演会



性教育の授業

多摩動物公園



卒業を前に、校外学習で多摩動物公園を訪れたり、薬物乱用防止講演会や助産師の方をお招きしての性教育の授業を行ったりしました。さまざまな学びや体験を通して、自分自身やこれからの生き方について考える機会となりました。

表彰

産業教育優良生徒	2名
体育優良生徒	2名
学校長賞	4名

●第36回蔵敷公民館子どもフェスティバル

3月7日(土)、蔵敷公民館で子どもフェスティバルが開催されました。五中の生徒はボランティアとしてゲームコーナーの運営を行い、来場した子どもたちと楽しく交流しました。また、第五中学校有志合唱団は心を込めて合唱を披露し、会場を温かい雰囲気包みました。



●生徒の活動報告

令和7年度学校文化行事第75回東京都公立学校美術展覧会 出品者

- 1年 自分ブランドのシャツ
 「カラフルでおもちゃ箱のようなポップのシャツ」
- 2年 彫刻自画像「リズムにのって輝く私」
- 3年 抽象表現「受験が近づく不安と合格への一本の光」
- 7組 世界遺産ステンシル画「日光東照宮」

善行表彰

2年生3名

道で倒れていた方を助けた善行により、市から表彰されました。



●4月の予定

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 4月 6日(月)春季休業日(終) | 4月21日(火)生徒会朝礼 |
| 7日(火)新任式・始業式 | 22日(水)五中ガイダンス |
| 8日(水)入学式 2,3年給食あり | 23日(木)24日(金) |
| 9日(木)10日(金) <u>給食なし</u> | 3年全国学力・学習状況調査 |
| 10日(金)新入生歓迎会 | 25日(土)学校公開 |
| 13日(月)1学期時間割開始 身体測定 <u>給食始</u> | 保護者会 部活動保護者会 |
| | 27日(月)振替休業日 |

令和7年度 第3回 学校運営協議会

今年度最後の学校運営協議会が行われました。様々な視点からご意見をいただいたので、今後の教育活動の充実・改善に活かしてまいります。

日 時 令和8年2月13日（金）10：50～11：40

場 所 図書室

参加者 学校運営協議会委員

第五中学校 校長 副校長 生活指導主任

教務主任 進路研究主任

校長より

今年度のまとめ

- ・分掌主任の紹介
- ・落ち着いた学校生活を継続しており、学力も以前に比べて向上していますが、得点力にはまだ課題があります。

教務部より

教育課程について・学力状況について

委員の方より、生徒が主体的に学ぶためには、保護者の理解と協力が大切であり、学校と同じ目線で子どもを支えていく意識づくりが必要ではないかという意見がありました。また、高校進学後に環境の違いに戸惑う生徒も多いため、できるだけギャップを感じずに進学できるよう支援していくことも大切ではないかという声がありました。

学校からは、生徒たちは日ごろから学習に意欲的に取り組んでいることを伝えました。

生活指導部より

指導内容の変容

近年の指導内容として、SNSに関する指導はスマートフォンに加え、授業で使用するiPadについても広がっています。また、地域での迷惑行為や、家庭内での親子・兄弟間のトラブルへの対応も見られます。友人関係においては、コミュニケーションの行き違いによるトラブルが多く、教員が間に入り、関わり方について指導する場面が増えています。

生活のきまりについては、暑さ対策として体育着での登校を認めることや、体育館履きと上履きの一本化（値上げ対策）、教室移動を整列から個人での移動へ変更するなどの見直しを行い、概ね円滑に進んでいます。女子の髪型についても、今後検討していく予定です。（3月時点で変更済み）

委員の方からは、履き物の一本化への賛同、髪型の基準についての意見が出されました。また、友人関係については、少人数での関わりが増え、大人数で行動する従来の姿から変化してきているのではないかと指摘がありました。

進路研究部より

探究学習の取組や、教員同士が授業を見合う研修の実施状況について報告がありました。また、高校入試の現状についても共有されました。

校長より、学校統合については、長期的な計画の中で今後の動向を見ていく必要があることが伝えられました。制服については、価格の高騰を受け、見直しの必要性について検討していくことが示されました。委員からは、私服化への懸念や、安価な選択肢の可能性について意見が出されました。

宿泊行事については、費用面を考慮して見直しを進めてきた経緯があり、今後は宿泊にこだわらず、体験的な学習の充実を図っていく方針が示されました。